

水 キ ッ ズ  補 欠 ゼ ロ リ ー グ !

補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10歳以下）の子供たちに「年間を通して定期的に試合ができる環境」を提供するため、2004年にスタートした岩手県独自の取り組みです。
才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。
また、FAエリートプログラムやFAスクールから発掘した子供たちを参加に導いて、連動させています。

- 【主催】 (公社) 岩手県サッカー協会
- 【主管】 (公社) 岩手県サッカー協会 キッズ委員会 11地区
- 【運営】 地区キッズ担当者、参加団体指導者、JFAキッズリーダー、父母の方々など
- 【対象】 少年団・クラブチーム・スクール等に所属する小学4年生以下のキッズおよび準ずるキッズで、傷害保険に加入していること
- 【内容】 2002年にJリーグ・アカデミー(当時プロジェクトリーダー山下則之氏)が提唱した「補欠ゼロ = 参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する」の考え方を基本として、参加団体の対抗戦ではなく、集まった子供たちをシャッフル混成チーム分け(4~5人制)して、そのチームでその日限りのリーグ戦(3試合程度)を戦い抜きます。

- ★ 混成するので団員1人での参加も大丈夫
- ★ 試合には常にレギュラー選手としてフル出場
- ★ 4~5人制でボールに関わるチャンスが多い
- ★ 混成チームの中でプレーすることで社会性を養う



宮古地区 第1回 (U-6, U-8)

- 【日時会場】 2013年7月21日(日) 9:30~12:00 宮古市立 花輪小学校(体育館)
- 【参加団体】 花輪サッカー少年団、FC宮古フェニックス、FC宮古デルフィーレ田老、FC山田ヴェルエー二、花輪学童の家
- 【参加人数】 44名 (小2...15名、小1...16名、U6...13名)
- 【運営本部】 木村 進 県協会キッズ委員会 宮古地区担当(花輪サッカー少年団監督)
澤田 豊 地区担当補佐(司会進行、撮影)
鎌澤 和之 県協会キッズ委員会 補欠ゼロリーグ担当(めざせクラッキ進行、U-6進行担当)
- 【運営サポート】 宮古 3名、山田 1名、花輪 1名

【全員いっしょに めざせクラッキ!】

「動きづくり」 両足・片足ジャンプ、かかし立ち、ケンパー・グーパー動作、ケンパー・グーパー走
「ボールフィーリング」

(手) バウンドキャッチ、投げ上げてキャッチ(パッチン、あたま・おしり触れて)
メガネころがし、前進ころがし、ももキックしてキャッチ

(足) 左右踏み替え(タテ・カニ)、踏み替えながら前進、踏み替えながら後進、インインで前進



「めざせクラッキ!」とはJFA チャレンジゲームの初級版です。(冊子1冊+DVD1枚で一般販売されています)
ステージ1からステージ6と段階的に設定されており、動きづくりを中心に、バランスよく全身運動が出来るプログラムです。
キッズ年代の5歳から8歳程度までを対象として作られていますが、大人の初心者の方でも楽しめる内容となっています。

【U-6 コーチが出したボールをシュート】

ころがしたボール、股の下から出たボール、反転姿勢から高く投げ上げられて落ちてきたボールを追う



【U-8 ドリブルシュート】



【U-8 1vs1から突破シュート】



オシム語録

「若い選手にはミスする権利がある」

イビチャ・オシム（2006-2007 日本代表監督）



【U-6 試合のようす（半コート）】



【2年生 試合のようす（フルコート）】

2年生はゴール2台くっつけて大きいゴールにしました



【1年生 試合のようす（半コート）】

あきらめずボールを追って奪おうとする粘り強さが素晴らしい。



【閉会式のようす】

指示や注意する必要はまったくなし。ごらんの通り、話を聞く姿勢・態度（目つきも）が文句なしで素晴らしい。



オシム語録

「練習でできなかったことが、ゲームでできるようになるはずがない。
人生も同じ。日々の生活でのことが、重要な場面で必ず出てしまうものだ。」

イビチャ・オシム（2006-2007 日本代表監督）





U-6



U-8

【活動を終えて】 地区キッズ担当者コメント

自分の仕事、チームの活動と忙しさにかまけてなかなか補欠ゼロリーグを開催することができない、もどかしさで一杯でしたが、みなさまのお陰で念願の第1回目を無事開催することができました。

50名弱の各チームの低学年と園児等、普段はあまり試合する事がない子供達の元気一杯のプレーと真剣にトレーニングに励んでいた子供たちの姿には、さすがしさが感じられました。子供たちの元気さに触れ、何か最近の疲れていた気分が大分癒された気持ちでした。

今後も、可能なら県協会のお力を頂き、地元スタッフともコミュニケーションを取り、第2回目以降も開催出来るように頑張りたいと思います。

木村 進（県協会キッズ委員会 宮古地区担当、花輪サッカー少年団監督）

（編集：県協会 鎌澤和之）